

令和6年度 登別小学校 学力向上プラン

目標:国語教科書に紹介されている本を読む児童の増加

国語教科書に紹介されている本を読む目標 学期ごとの目標冊数

低学年:8冊 中学年:6冊 高学年:4冊

〈具体的な方策〉

○司書と連携した図書館活用促進

- ・並行読書週間(年に1回 単元は4月に担任に決めて、司書へ伝える・読書通帳の発行)
- ・年度当初の図書室指導
- ・学習や学級に合わせた本の紹介
- ・委員会活動・読書週間の取組における連携
- ・読書量の可視化=カードの活用、読書の木など
- ・図書の紹介や読み聞かせなどをベーシックタイムや読書の時間に積極的に行う。

○読む力を付ける活動の充実

- ・国語~図書室活用や読書に親しむ単元の充実

目標:「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

国語科において、学習のゴールを意識して計画を立てたり考えたりできる

(児童アンケート80%、R5 88%)

授業中、問題の解き方や、考えたことが、伝えたい相手に伝わるように、ノートやタブレットに書いている。目標90% (児童アンケートR584.8%)

〈具体的な方策〉

研修での取組に合わせて

○個別最適な学び 主体的に学習する態度を目指して

- ・ゴールを意識できる授業
- ・振り返りのある授業
- ・児童がゴールを目指して学びを計画できる授業スタイル

○協働的な学び

- ・ICTを使用した対話の活性化
- ・自他の違いを認め合える学級風土作り (UDを意識した授業づくり)

目標:確実な基礎力の定着

チャレンジテスト平均正答率 70% (R3 52.7% R4 65.8% R5 61.1%)

無回答率 0% (R3 9.3% R4 3% R5 0.2%)

〈具体的な方策〉

「国語」…課題や問題文の把握を丁寧に、必要な情報を抜き取る練習をする。

「算数」…四則計算の反復練習

○ベーシックタイムの継続

- ・朝のベーシックタイムで、おさらい先生を使い、算数(四則計算)、国語(読解)に繰り返し取り組むことで、基礎・基本の学習内容の定着を図る。

○各種テストの結果分析

- ・MEXCBTを活用した「チャレンジテスト」や「全校学力学習状況調査」の過去問題に取り組み、苦手問題を減らす。

○スタートカリキュラムの確実な実施

Anticipation(見通し) 1学期の重点

- ・図書室指導や学習に合わせて学校司書と連携した指導をしましょう。
- ・朝の時間(ベーシックタイムや読書の時間)に本の紹介や読み聞かせなどを積極的に取り入れましょう。
- ・国語の学習に合わせて、教科書に紹介されている本を読む指導をしましょう。

Anticipation(見通し) 1学期の重点

- ・単元や授業の課題やゴールを明確にし、児童と共有する授業・振り返りのある授業をしましょう。
- ・対話の活性化のために、ICTを積極的に活用しましょう。
- ・互いに助け合い、認め合い、高め合う人間関係を目指しましょう。

Anticipation(見通し) 1学期の重点

- ・デジタルドリルを使用し、基礎基本の練習を繰り返しましょう。
- ・MEXCBTを使い、チャレンジテストの練習をしましょう。
- ・自分の考えを気軽に書く経験を充実させ、無回答を減らしましょう。
- ・文章を読み取る際に、課題を焦点化した練習を繰り返す。

読書習慣の定着 (豊かな人間性の向上)

個別最適な学習・協働的な学習

基礎基本・学習内容の定着

確かな学力の向上

たくましく生きるための健康や体力づくり

家庭学習習慣の充実

目標:体力づくりの強化

・体力づくりの取組のより一層の充実

(前期)前年度の全国平均以上の児童の割合が50%

(後期)シャトルランのみ割合50%

〈具体的な方策〉

○体力づくり強化の取組

- ・体育委員会によるレクの企画
- ・短縄跳びの目標設定

Anticipation(見通)

1学期の重点

- ・短縄跳びの目標を児童と設定し、体育のウォーミングアップにも取り入れましょう。
- ・走力や持久力を向上させるために体育の授業の初めに「体力づくりの運動」を取り入れましょう。

目標:平日のメディア時間の短縮

・児童アンケート「ゲームをしたりテレビを見たりしている時間が2時間以内」80%以上

・児童アンケート「ゲームをしたり見たりしている時間が4時間以上」0%

〈具体的な方策〉

○アウトメディア読書週間の計画と実施

- ・アウトメディア読書デーを月2回行い、定期的に繰り返し指導・生徒指導部より、学級通信、スマホ安全教室等を通して、定期的に保護者への啓蒙する

Anticipation(見通)

1学期の重点

- ・アウトメディア読書デーを確実に定着させ、メディアの削減を目指しましょう。
- ・規則正しい生活について家庭の協力が得られるよう、家庭へ

目標:家庭学習の習慣化と学習内容の充実

・家庭学習(宿題or自主学習)提出率90%(R1 78% R2 84% R3 82% R4 85% R5 82%)

・家庭学習の質の向上(自分で計画した学習の継続)

〈具体的な方策〉

○「家庭学習の手引き」に基づいた指導と家庭への配付

「家庭学習の手引き」を基に学級指導し、保護者や児童が家庭学習の取り組み方に困った際に活用できるよう、PTA集会や個人懇談などで直接説明できる機会を設ける。(重点:家庭学習時間、取組内容)

○家庭学習の記録の蓄積

自分でどんな家庭学習に取り組んでいるかを記録し、普段からふりかえられるようなシステムの構築

○強化週間の取組

家庭への呼びかけを含め、力を入れて取り組む。

Anticipation(見通し)

1学期の重点

- ・児童と目標の共有(提出率、学習時間など)をしましょう。
- ・「家庭学習の手引き」に基づいた取り組み方の指導をしましょう。
- ・毎日家庭学習について振り返る習慣を身に付けましょう。